

# 明日に向かって

## ともに創る

98

大船渡市長 戸田公明

### 新型コロナウイルス対策で感じたこと

市は、政府による新型コロナウイルス感染症対策を受け、2月18日から6回の対策本部会議を開催し、「原則、市主催イベントの中止または延期」「市公共施設の原則休館」「感染予防啓発チラシの全戸配布」「医療・介護・児童福祉・学校などへのマスク配布」などを決定および実施しています。

※コラム執筆時点(3月27日)

市民・関係機関・事業所の皆様には、ご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

今後とも、政府の新たな方針・対策に呼応して、しっかりと対応してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、中国湖北省武漢市で発生した感染症が、国際化による広範で活発な人の移動と交流の結果とはいえ、約2カ月で170カ国以上に拡大したことには、ただただ驚くばかりです。

まず、発生源である中国ですが、当初、当局による情報発信の遅れによる感染拡大が国際的に批判されました。

その後、政府による突然の武漢封鎖・隔離病棟の突貫建設(何とわずか1週間!)など国を挙げて対策が打たれ、1カ月余りで新たな感染者数が大幅に減少しました。中央集権国家では、このような強力的な対策が容易であることを、改めて実感したところでもあります。

中国での感染者数が拡大している中、WHOが韓国・イタリア・イラン・日本が5大感染国であると発表した時期がありました。

その後、日本の累計感染者数は目立たなくなる一方、韓国・イタリア・イランにおいて感染が急拡大すると同時に、海外観光客の多いフランス・スペイン・ドイツなどのヨーロッパ諸国にも拡大し、ついにWHOはヨーロッパを感染中心地域としてパンデミック(世界的な大流行)を宣言しました。

その宣言が、スペイン・フランス・ドイツなどの国々の背中を押し、相次いで非常事態を宣言し、強力なアクションをとる

効果があることも分かりました。最大感染地であった中国の次が、なぜ遠隔地のイタリアなのかも分かりました。イタリアは、ヨーロッパ主要国とG7では唯一「一帯一路(陸路で中国とヨーロッパなどをつなぐ広域経済圏構想)」に参加し、中国との交流が盛んな国であることと関連があるようです。

イタリアはウイルスの急激な感染拡大をもたらし、当初は北部イタリアだけに限定された外出自粛が、国内全域となり、日用品・薬品以外の商店の営業禁止につながりました。

最近では、域外からEUへの入国禁止、アメリカにおける感染者数の急激な拡大、インドにおける外出禁止、各国による入出国制限など、日々新たなニュースが流れています。

日本国内では、3月25日、東京都知事が都内における感染者数の拡大傾向を踏まえ、都民に対して週末の外出自粛を呼び掛けました。

本市は都内から離れた地方都市とはいえ、新幹線などを通じて東京都と直結していますので、予断を許さない状況です。

今後とも、海外の状況とともに、国内の感染状況の推移に注目してまいります。

## 子育て日記

334

すずき みお  
鈴木 美桜ちゃん(2歳)

(末崎町平林)



●家族からお子さんへのメッセージ  
すくすく育ってね。

●今後のまちづくりに望むこと  
子どもが安心して遊べる場所を増やしてほしいです。

◀募集中▶ 「子育て日記」に掲載する小学生ぐらいまでのお子さんを募集しています。応募方法など、詳しくは問い合わせください。

▷あて先/問い合わせ先  
〒022-8501(住所記載不要)  
秘書広報課広聴広報係(☎内線210)

